

2学期の総合訪問より

一人一人の子どもを大切にする教育活動を！

2学期は、小学校3校・中学校3校の総合訪問を行いました。
今回は総合訪問4回目の報告として、2校の教育活動の様子についてご紹介します。

一関市立磐清水小学校

磐清水小学校では、学校、家庭、地域と連携しながら学力の向上、豊かな心の育成、体力・持久力・走力の向上、健康意識の向上を目指し取り組んでいます。

かしこく ●**学力向上**：国語・算数のチャレンジテストを実施。90点以下は補充指導でどの子どもも必ず合格するまで、取り組みます。また、表現力の育成に向けて、発表の場ではノー原稿を基本としています。

●**家庭学習の充実**：「家庭学習の手引き」を配付。「脱『ながら勉強』」、質を高め合うために家庭学習体験日を実施し、2・3年、4～6年で子ども同士での教え合いを行っています。家庭学習確認週間(6・11月)を実施し、家庭に点検表を配付し、取組の確認や家の人からのコメントの協力を依頼しています。



6年生 道徳の授業

やさしく ●**明るい挨拶**：児童会が提案した「あいさつ花丸運動」を実施。先生方、同学年の友達や他学年の友達へのあいさつができれば、花丸点検表にシールを貼って学級全員で取り組んでいます。

●**思いやりや感謝の気持ち**：学校いじめ防止基本方針の内容について保護者にお知らせし、いじめ防止に取り組んでいます。児童会では、言葉遣いに気をつけて「ふわふわ言葉をいっぱいつかおう」に取り組んでいます。

たくましく ●**体力の向上**：毎日こつこつマラソンを実施。年間校庭300週を目標にした取組では、マラソンカードで25週を達成毎に教職員と握手、300週で全教職員と握手するという工夫をするなど楽しみながら取り組めるよう配慮しています。また、「歩いて学校に行こう週間」を設定し、徒歩登下校への取組をしています。



マラソンが習慣化している子ども達

一関市立藤沢中学校

キーワードに『BEST SHOT!』

- S speciality(専門性)
- H heart-warming words(温かい言葉かけ)
- O originality(独創性)
- T teamwork(協働性)

生徒の力を引き出す藤沢中学校 ～子ども達のために全力を～

- ・調査結果等をもとに(学校、学級、教科)経営を行う。
- ・具体的な手立てや見通しをもった対応を行う。
- ・「生徒のためになること」を判断基準に組織で思考し行動する。
- ・保護者へ迅速に結果や回答、経営について知らせる。等、全教職員が、信頼される藤沢中学校に向けて取り組んでいます。

●確かな学力の定着に向けて

授業に「課題」「探究」「振り返り」の時間を**確実に**位置づけ、基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力の育成を図り、授業と連動した家庭学習を意識することで学習の定着を図っています。

●保護者と地域に信頼される教育の推進(地域を支える学校)

として、全校を挙げて「野焼き作品」制作に挑戦。40周年を迎えた藤沢町野焼き祭りに地区ごとに班を編成し、自分達の思いを形に表現しています。また、美術の授業では、大籠の殉教記念公園に寄贈された岩手ゆかりの彫刻家、船越保武の作品が取り上げられるなど、地域と関連付けた授業も実践されています。



「早春賦」音楽の授業



▲40～43区、ラストスパート、仕上げの模様作り、作品名『仏様』



鑑賞「原の城」美術の授業

「授業改善」の視点で意識してほしいこと！

《坂川孝志所長の挨拶より》

《大切にしてほしいこと》

- ・組織力の向上
- ・安心安全な環境づくり
- ・コンプライアンスの確立
- ・達成感、成就感を大切に

《授業で大切なこと》

- ・一人一人に考えさせる全員参加の授業
- ・個の考えを集団でつなぎ広げ深める
- ・学びが実感できるような授業
- ・分析結果を子どものために生かす

